

フラワーデータ

クマツヅラ科バーベナ属 【開花時期】 4~11月 【花径】 5.5~6.5cm (花房) 【草丈】 20~40cm 【冬越し】 可(寒冷地除く)



置き場所

直射日光を好みます。

●直射日光を好みますので、半日以上直射日光の当たる屋外に置きましょう。

水やり

土が乾いているのを確認してから、たっぷりと与えましょう。

●土の表面が乾いたら、水が鉢底から流れ出るまでたっぷりと与えましょう。上から水をかけると、株が傷んだり、蒸れや病気などの原因になりますので、株元に水やりしてください。

肥料

定期的に追肥をしましょう。

- ●草花用の肥料をご用意ください。
- ●元肥が含まれていない土を使用する場合は、植え付け時に土に元肥を混ぜ込んでおきましょう。
- ●植え付けの約1ヶ月後から定期的に「置肥」をしましょう。(1ヶ月に1回が目安。)1ヶ月ほど経つと、置肥のかたまりが土にまだ残っていても効果はなくなっています。
- ●「液肥」を併用すると開花のパフォーマンスが高まります。液肥は植え付けの約2~3週間後から使用すると良いでしょう。 ※お手持ちの肥料に記載されている肥料の使用方法、濃度、頻度を参考にしてください。

摘芯(ピンチ)

植え付けから約2~3週間

- ●植え付け後、枝が伸びてきたら摘芯を行います。(植え付けから約2~3週間が目安。) 鉢の外に間延びしてきた枝を、鉢の内周りに沿って刈り込むのが目安ですが、 株がまだ小さい場合や葉が込み入っていない場合は、先端を摘むだけで構いません。
- ●植え付けから2~3週間の内に2~3度繰り返すと、ボリュームのある株に仕上がります。



花がら摘み

花が咲いてきたら

- ●咲き終わった花はマメに摘み取りましょう。花びらだけではなく、花茎ごと切り取ります。
- ●花をたくさん咲かせ続けるには肥料が大切です。引き続き追肥も忘れずに。

切り戻し

満開を過ぎて花が少なくなってきたら

- ●枝先にしか花がつかず株元の花が少なくなったり、全体的に花数が減ってきたら、株に緑の葉が残っているうちに切り戻しを 行いましょう。切り戻しをすれば、また満開の花を楽しめます。その後、再び花が少なくなってきたら同様に切り戻しをしましょう。
- ●関東以西の温暖地域では、最後の切り戻しは遅くとも8月中が目安です。そうすると秋にもう一度、花を楽しむことができるでしょう。

冬越し

寒冷地を除き冬越し可能

- ●温暖な地域では冬越しが可能です。秋が過ぎて花が終ったら、短く刈り込み、霜に当たらない日当りの良い場所で管理してください。肥料は控えます。
- ●春になり新芽が吹いたら一回り大きい鉢に植え替えましょう。

ポイント

- ●耐暑性と耐病性に優れたバーベナです。早く花が咲きます。
- ●鮮やかな花色で、花房が大きく花密度が高いです。
- ●名前の由来

従来の「花手毬」に、「絢(あや)」(華やかで花が咲いたように明るくて輝くばかりに美しいさま)をつけて、雅でまばゆいブランドの世界観を表現しました。





栽培の過程でご不明な点やお困りのことがございましたら、お気軽にご相談ください。

サントリーフラワーズお客様センター

電話番号:0570-550-087

((平日10:00~17:00 土·日·祝日休)

メールによるお問い合わせ info@suntoryflowers.co.jp サントリーフラワーズホームページ http://suntory.jp/FLOWER/